

9月度の掲示板

- ・ 荏田東第一小学校（えだわんだより）
- ・ 第4回 災害時安否確認訓練

これからの

9月号

令和7年8月27日発行

横浜の学び、えだわんの学び

横浜教育ビジョン2030 横浜の教育が目指す人づくり

自ら学び 社会とつながり ともに未来を創る人

横浜の教育は、子どもが主体的に考え学び続け、多様な人々や社会と関わり合うことを大切にします。

個性や能力を生かしながら、夢や目標に向かってチャレンジし、振り返り、よりよい社会や新たな価値を創造できる人を育みます。

第5期横浜市教育局振興基本計画の方向性

〇横浜らしいインクルーシブ教育の実現に向けて、多様な学びの場の更なる充実と安心して学び続けられる新たな学びの創造を一体的に進め、誰もが学びを保障される環境を構築していく。

〇一人一台端末により、大都市だから得られるビッグデータを、児童生徒一人ひとりの学習速度に応じた個別最適・協働的な学びを支えるオーダーメイドの学びやデータを活用した効果的な教育に生かす。

学校スローガン「協力し 信じあえる えだわん2025」

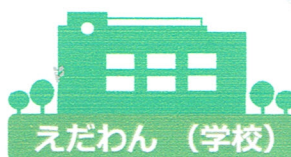
共に伸び 共に輝け 感謝・感動 しなやかえだわん

- ㊦ 笑顔で あいさつ
㊧ だれもが 安心

- ㊦ 一人一人 みんなちがって みんないい
㊧ がんばろう 最後まで
㊨ 信じ合おう 友達

多様性を包摂し、可能性を開花させる教育

- 特別支援教室（しなやかルーム）
- 子どもが学びを自己調整し、選択できる学習デザイン
- AIドリル
- 横浜どこでもスタディ
- 読み放題型電子図書館「Yomokka!（よもっか!）」



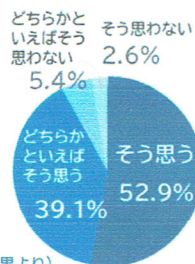
すべての子どもが
自らの可能性を見いだす
学びの実現に向けて

質の高い探究的な学びの充実

- あなたは「何を」「だれと」「どこで」「どのように」学びたいですか？

● 学校での「学び方」について聞かせてください。
あなたは、先生から教えてもらうだけでなく、友達と話したり自分で調べたり、オンラインで学校外の人と交流したりするなど、**今よりも学び方を自分で選べる**というと思いますか。

(R6.9月実施 横浜市全児童生徒 アンケート調査結果より)



えだわんのみなさんへ。「未来」はみなさんのことを待っています。未来を創るのは、みなさんからです。複雑で変化の激しい時代、解が一つではない課題にも柔軟に向き合い、持続可能な社会の実現にむけて、自分たちができることを考え、他者と協働し、解決していくことが重要となります。

（今も、今までも、これからも）すべての子どもが自らの可能性を見いだす学びの実現に向けて「質の高い探究的な学びの充実」を、みなさんといっしょに目指します。



お知らせ

第
4
回

災害時安否確認訓練

9月28日(日) 午後5時～7時

★今回は夕刻～夜間の発災を想定し、上記時間で訓練を実施します。★雨天決行

これに伴う災害ボランティアの打合せ会を**9月21日(日) 10:00～**に行います。

災害ボランティアの皆さまは赤い紐のボランティア・ネームカードを掛けて、自治会館にお集まりください。

みんなで
災害を
乗り越える

訓練目的 内容

「黄色いタオル」による安否確認の訓練

各世帯に配布している「黄色いタオル」の活用により円滑な安否確認が出来るように実地訓練します。

対象 全自治会員世帯**想定** 午後5時に「震度5強」の地震が発生し、電話・Eメール使用不能という想定

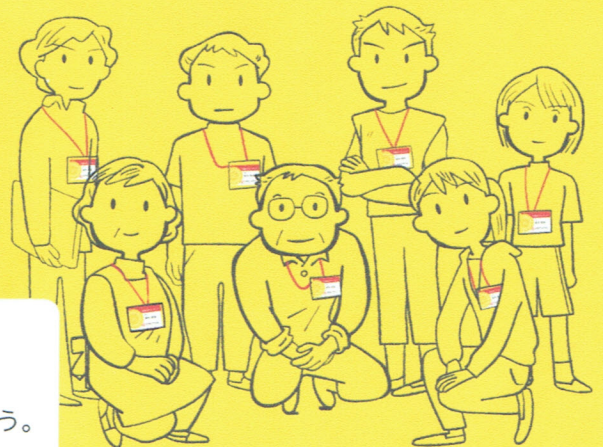
会員の皆さまに実施して頂きたいこと

「午後5時から7時までの2時間」安否確認が円滑に行えるように、
わが家は大丈夫の目印として「黄色いタオル」を
家の外から目立つ場所(門扉、玄関扉、植栽など)に表出してください。

自治会側で実施すること

自治会では現在50名の方が「災害ボランティア」に登録されています。

当日は「災害ボランティア」が手分けし、全世帯の「黄色いタオル」を確認して回ります。同時に「そなえカード」に登録している方33名のご自宅を訪問確認して回ります。



「各家庭での備え(自助)」のお願い

大地震発生時には夫々ご自宅での「在宅避難」が原則となります。防災月間を機会に、各々のご家庭で「防災への備え」を見直しましょう。

横浜市 わが家の対策

Q検索

東京 備蓄ナビ

Q検索

自治会へのお問合せ・ご相談窓口



◎メール スマホ・パソコンから

em4jitikai@gmail.com

★自治会専用メールアドレス

▲自治会ホームページ内のお問合せフォーム

◎電話 固定・スマホから

070-8945-3590 西村自治会会長直通

★自治会専用電話番号